



みんなでやぐら組み！

事例の概要

相模原駅前自治会では1年を通して小山地区自治会連合会・公民館・商店会などと様々な活動を行う一方、自治会独自の活動として、夏祭り・自主防災訓練などを行っています。その中でも最も盛大に行われる行事が相模原駅前自治会の夏祭りです。

自治会夏祭りは50回も開催の歴史があり、自治会が主催し、自治会内の組織である駅前倶楽部、駅前長寿会、ひまわり子ども会と地元の商店会などが共催しています。

また、夏祭りに使用するやぐらは自治会が独自で所有し、搬送から設営、撤去に至るまで自治会と関連団体が協力して行い、夏祭りには多くの地域住民が参加するとともに自主性にあふれた運営を行っています。



完成したやぐら

地域住民が楽しめる、仲間づくりの夏祭り

特徴・ポイント

相模原駅前自治会の夏祭りの特徴は催しものの幅広さです。参加自由の盆踊りが中心ですが、子供お御輿、創作太鼓、歌謡ショー、抽選会、よさこい踊り、スイカの早食い、子ども花火など盛りだくさんの内容となっております。

このほか、自前の模擬店が特徴です。お祭りに付き物の模擬店は、すべて駅前倶楽部、ひまわり子ども会などのメンバーが自主的に参加し、協力して10店舗ほどの模擬店を開きます。

駅前という立地条件にも恵まれて、自治会の会員はもとより、相模原駅前自治会と交流



子どもお御輿出発！

のある小山地区・清新地区からの来客者・見物人、さらに日米親善を目的に招待された米軍

課題・展望

関係の方々も加わり、大いに賑わっていました。

夏祭りを実施するにあたり今後の課題は、①自治会や自治会内の各種団体の役員を育成すること②各種の行事を行う際の参加者・協力者を増やすこととです。そのためには、日常的に呼びかけや、効果的なPRが必要とです。

現在、駅前地域では旧住民の高齢化が進む一方、マンション住民の比率が高まっています。

自治会ではマンション居住者の自治会への加入を促進するために、マンションの建設計画の段階から建築主や管理会社と自治会への加入交渉を行い、建築後はマンション居住者の管理組合に対して、自治会活動の説明会を行っています。

その結果として、自治会への一括加入を図るとともに、自治会活動への関心を高めることに努めています。

体験・取材した職員から一言！！



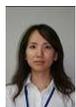
夏祭りに参加した時にいただいた言葉ですが、「このような地域の現場を知る機会である人と交流して、いろいろな人の話や地域の声を聞いてくださいな」と激励されたことがとても心に刻まれました。(市史編さん室 稲垣)



皆で作上げる夏祭りはとても楽しかったです。再三の取材にもかかわらず、熱心にお話いただいた手塚会長の思いが、役員や駅前倶楽部を初めとした関連団体の方たちのパワーを引き出しているように思いました。(農林課 溝口)

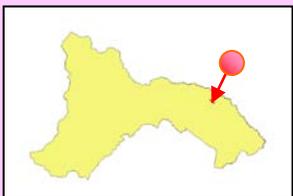


夏祭りを取材して感じたことは開催の自主性、イベントと来場者層の多様性でした。相模原駅前自治会は自治会運営で関連団体の協力による人手不足の解消、協賛金制度導入による資金不足の対応などを行っており、都市部にある自治会の成功例であると感じました。(生活支援課 水野)



お祭りのチラシ配布準備からお手伝いさせて頂きました。封筒とチラシに一部ずつ印を押すなど、手間のかかる作業でしたが、あえて手間をかけるということは気持ちを込めることでもあるというお話しに、感銘を受けました。(スポーツ課 菊地)

団体の基礎DATA



団体名 ◇相模原駅前自治会
世帯数 ◇1,128 世帯
代表者名 ◇ 手塚 淳さん



問い合わせ⇒手塚 淳さんまで
電話 042-752-2473